



フランストゥールーズ第一大学の非営利団体 : Fac Sans Frontières (FSF)  
による東北地方太平洋沖地震被災地学生のトゥールーズ受入れについて

トゥールーズ第一大学の FSF はノーベル平和賞受賞団体「国境なき医師団 (Médecins Sans Frontières)」の理念を大学に応用し、自然災害等により被災した学生の学業継続、災害・復興経験をフランス人学生と共有する事を目的に 2004 年に設立されました。設立以来、2005 年米国、ニューオリンズのハリケーンカトリーナ被害、2007 年モザンビーク水害、2009 年イタリア、ラクイラ地震の被災学生を受け入れてきた実績があります。

FSF は、本年 3 月 11 日の大震災、またそれにより引き起こされた原子力災害に鑑み、ミディ・ピレネー広域圏議会、トゥールーズ及び Université de Toulouse (トゥールーズ第一大学、第二大学、第三などによって構成される複合研究体)後援の下、学生の学業継続と深化を図り、更に日仏交流及び大学間交流の発展に資するために、被災地の学生をトゥールーズ市に招待する事としました。

### 募集要項

募集人数 : 若干名。

滞在場所・期間 : フランス共和国トゥールーズ市 5 月中旬から 3 週間程度。

受け入れ機関 : FSF, Université de Toulouse

支給されるもの : 旅費 (仙台ートゥールーズ間航空券)、宿泊費 (大学寮滞在)、食費 (大学食堂チケット支給) トゥールーズ市市内交通費 (回数券配布予定)。

対象学生 : 文系・理系を問わず、被災地所在大学の修士課程以上在籍 (ポスドクを含む) で満 35 歳までの心身共に健康な方。日常会話程度の英語ないしフランス語ができる方 (フランス語がより望ましい)。

義務 : トゥールーズ滞在中に、今回の被災経験、ボランティア経験などを報告会で英語ないしフランス語で説明すること。今後ともミディ・ピレネー広域圏、トゥールーズ市、当地大学関係者との学術振興・交流発展に協力すること。

選考方法等 : FSF 事務局による書類選考。選考結果は直接本人にメールで連絡。

必要書類等 : 志望される方は下記の必要書類を添えて 5 月 6 日午後 5 時 (日本時間) までに FSF 事務局のメールアドレスに送付する事。

- 日本語で書かれた履歴書 (専門分野での能力、語学力等を証明する証書等を有する場合はその旨記載すること (後日、コピー提出を求めることがある) 及び志望動機 (A4 用紙 2 枚程度、書式自由) 及び選考結果通知先メールアドレス。

注意 選考結果通知後、あまり時間の余裕なく渡仏するので、パスポート等の手配は早めにされたい。

FSF 事務局 Facsansfrontieres@gmail.com